

に ほ ん ご
日本語4

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語4 (総合)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	3単位
授業数	週3回

1. 授業の概要・到達目標

【授業の概要】この授業は、初級レベルの学習が終わった学習者が勉強するクラスです。初級で学んだ文法や語彙・漢字を正しく使えること、そして、日本語の「読む・書く・話す・聞く」力をバランスよく高め、自信を持って日本語でコミュニケーションできることを目指します。また、教科書は『上級へのとびら』で、日本文化や社会がテーマになっていますので、授業では日本文化と自分の文化を比較し、違いを述べたり、自分の文化について説明したりします。日本語の知識や文法を学ぶだけでなく、日本文化や同じクラスの留学生の国や文化についても学び、自分の意見や感想を伝えられるように取り組みしましょう。授業は、日本語で行い、3人の教員が担当します。

- 【到達目標】
1. 日本や日本文化について書かれた文章を読んで、理解することができる。
 2. 自分の国についてまとめて話したり、日本と比較し、違いや自分の考えをまとめて話すことができる。
 3. 教科書で学んだ語彙・漢字や文法を、理解し、使うことができる。また、初級レベルの語彙・漢字・文法の間違いを自分で直して、使えるようになる。

2. 授業内容【授業の進め方】

- 第1回：a. イントロダクション（授業についての説明）／b. 第1課『日本の地理』
 第2-6回：第1課『日本の地理』
 第7-13回：第2課『日本語のスピーチスタイル』
 第14回：復習
 第15回：a. 復習テスト（第1回）／b. 第3課『日本のテクノロジー』
 第16-17回：第3課『日本のテクノロジー』
 第18回：フィールドワーク
 第19-21回：第3課『日本のテクノロジー』
 第22-27回：第4課『日本のスポーツ』
 第28回：復習
 第29回：a. 復習テスト（第2回）／第5課『日本の食べ物』
 第30-33回：第5課『日本の食べ物』
 第34-39回：第6課『日本人と宗教』
 第40回：a. 復習テスト（第3回）／b. クラス活動
 第41-42回：クラス活動／振り返り
- ◆授業のスケジュールは、第1回目のイントロダクションで説明します。

3. 履修上の注意

- ・この科目はプレースメントテストの結果、日本語4レベルにプレースされた人が履修できます。
- ・週3回の授業すべてに出席しなければなりません。

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

- ◆授業がよくわかるように、予習と復習をしてください。
 - ◆予習と復習は30分～1時間くらい必要です。
 - ・予習：進行表を見て、学習内容のページの単語の意味や読み方を調べる。
教科書の文法の説明と例文を読む、小テストの準備をする。
 - ・復習：宿題をする。その回に勉強した文法や語彙をもう一度勉強する。
 - ◆『上級へのとびら』のWEBサイトには、オンラインで勉強できる無料コンテンツがあります。コンテンツを使って、自分で勉強しましょう。
- 上級へのとびらサイト：<http://tobiraweb.9640.jp/>

5. 教科書

- ◆『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語 上級へのとびら』、岡まゆみ 他著、(くろしお出版) 978-4-87424-447-0 C0081, 3,630円(税込)

6. 参考書

- ・授業の時、紹介します。
- ・教科書と一しょに勉強できるワークブックもあります。
- 『上級へのとびら きたえよう漢字力 上級へつなげる基礎漢字800』、岡まゆみ 監修、くろしお出版 978-4-87424-487-6 C0081, 2,420円(税込)
- 『上級へのとびら これに身につく文法力』、筒井通雄 監修、くろしお出版 978-4-87424-570-5 C0081, 2,420円(税込)

7. 課題に対するフィードバックの方法

・クイズ、宿題、テスト等のフィードバックは、実施方法によって、Oh-no!meiji を使ったり、授業中にフィードバックをしたりします。

8. 成績評価の方法

◆評価対象と割合 (Grading and Evaluation)

- ・復習テスト<3回>60%
- ・平常点<小テスト、課題の提出、授業への取り組み> 40%

※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

9. その他

◆授業では、生活のためのコミュニケーション能力だけでなく、大学で勉強するための読解能力や語彙・表現能力なども勉強します。

◆日本語能力試験 (JLPT) にもチャレンジしましょう。

◆授業のスケジュールや内容は、学生の人数や興味関心などで変わることがあります。

◆この授業では、フィールドワークやその準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語4-1 (読解)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

【概要】中級レベルの受講生を対象とした読解を中心に進めていく授業です。教科書『読解厳選テーマ25+10[初中級]』には様々なタイプの読み物が入っています。外国人の日本での生活経験と感想・意見・行事（コミックマーケット、バレンタインデーなど）、習慣（握り寿司のしよゆうのつけ方など）などをはじめ、日本でよく知られている人物の紹介、昔話などがあります。さらに、4コマ漫画やクロスワードパズルなどもあります。それぞれの読み物には「話そう、考えよう」という課題があります。これらの読み物を読み、理解し、感想、考えをクラスで交換します。読み物のトピックについて、読み物に出てきた言葉、表現を使って、自国との比較、自国での例などを紹介します。読み物に出てきた言葉や表現の小テストがあります。また、読み物のトピックについて情報収集する課題もあります。

【到達目標】読み物から日本の社会、文化、歴史を知りましょう。そして、読むことを楽しみましょう。

短い文章（400～600字）を数多く読み、知らない単語が出てきても、文脈から推測できるようになりましょう。

読み物に関する感想、意見はもちろん、日常生活での体験、関心のあることについて、考えたこと、感想などを伝えることができる日本語力（話す力、書く力）をつけましょう。また、他の人に、意見や感想を聞いたり、質問したりできるようになりましょう。

2. 授業内容

- 第1回：イントロダクション 読書経験を語る「私の好きな読み物」
- 第2回：読み物(1) クロスワードパズル 暗号解読クイズ 読み物(2) 「きつねうどんとためきそば」(プリント配布)
- 第3回：読み物(2) 「きつねうどんとためきそば」(2回目) 小テスト「きつねうどんとためきそば」
- 第4回：読み物(3) 「日本の生活①」 読み物(4) 「日本の生活②」(教科書から)
- 第5回：小テスト「日本の生活①」「日本の生活②」 読み物(5) 「日本の生活③」
- 第6回：読み物(5) 読み物(6) 「日本の生活④」
- 第7回：小テスト「日本の生活③」「日本の生活④」 読み物(7) (教科書から選びますが内容は未定)
- 第8回：読み物(7) (2回目)
- 第9回：小テスト(読み物7から) 読み物(8) (教科書から選びますが内容は未定)
- 第10回：読み物(8) (2回目)
- 第11回：小テスト(読み物8から) 読み物(9) (教科書から選びますが内容は未定)
- 第12回：読み物(9) (2回目)
- 第13回：小テスト(読み物9から) 読み物(10) (教科書から、またはプリント教材)
- 第14回：読み物(10) (2回目) 振り返り

このスケジュールは、受講生の人数などで変更することがあります。

3. 履修上の注意

- ・プレースメント試験の結果、日本語4のレベルにプレースされている学生が履修できます。

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

読み物の背景知識を得るため、学生が情報収集をします。

読み物に関連した課題を出します。

読み物に関する内容理解の質問に答える、意見・感想を文章で書く、という課題を宿題として出します。

読み物に出てきた言葉、表現の復習小テストがあります。

5. 教科書

『読解厳選テーマ別25+10[初中級]』清水正幸、下郡麻子、沖中晃子著 凡人社 2200円＋税
必要に応じて読み物のトピックに関連するプリント教材を配布します。

6. 参考書

授業時に必要に応じて紹介します。

7. 課題に対するフィードバックの方法

小テストに関しては授業内に全体で答え合わせをします。情報収集課題については、調べてきたことを授業内でクラス全体で共有し、質疑応答をします。文章表現課題（感想・意見を述べる）は、一人一人にフィードバックをします。質問などは、授業内はもちろん、Oh!Meiji のディスカッション、あるいはメールでも対応します。

メールアドレス：Oh-o!Meiji のシラバスを見てください。

8. 成績評価の方法

課題の提出とその完成度 40%

小テスト 40%

平常点（授業への参加度、貢献度） 20%

出席が2/3以上でなければ評価は出しません。

9. その他

授業のスケジュールは受講生の人数などにより変更することがあります。

この授業は、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークやその準備をする可能性があります。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語4-2 (読解・漢字)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

【概要】

初中級の学生を対象として、漢字の読み書きを練習します。中級レベルの漢字学習に加え、既習である初級レベルの漢字も復習し、確実に身につけることを目指します。日常生活や大学での勉強に必要な日本語読解力や作文力を伸ばすためには漢字の運用能力は欠かせません。「読む」「書く」ことを中心に学びますが、漢字の語彙を増やすことにより、他の技能「話す」「聞く」ための能力も伸ばし、総合的に日本語運用力の向上を目指します。

【到達目標】

- 街で見かける漢字や、大学の授業で短い説明文や簡単な資料を読む際に必要な漢字が読める。
- 簡単な書類の記入に必要な漢字や、大学の授業で事実や自分の考えを短い文章で書く際に必要な漢字が書ける。
- 買い物や交通機関の利用など日常生活を送る際に必要な漢字語彙や、大学の授業で事実や自分の考えを述べるのに必要な語彙を身につける。

2. 授業内容

- 第1回：イントロダクション、漢字既習度についてのレベルチェック
- 第2回：テキスト26課の練習
- 第3回：テキスト26課の小テスト、テキスト27課の練習
- 第4回：テキスト27課の小テスト、テキスト28課の練習
- 第5回：テキスト28課の小テスト、テキスト29課の練習
- 第6回：テキスト29課の小テスト、テキスト30課の練習
- 第7回：テキスト30課の小テスト、テキスト26～30課のまとめ、前半の講義の振り返り
- 第8回：テキスト31課の練習
- 第9回：テキスト31課の小テスト、テキスト32課の練習
- 第10回：テキスト32課の小テスト、テキスト33課の練習
- 第11回：テキスト33課の小テスト、テキスト34課の練習
- 第12回：テキスト34課の小テスト、テキスト35課の練習
- 第13回：テキスト35課の小テスト、テキスト36課の練習
- 第14回：テキスト36課の小テスト、テキスト31～36課のまとめ、講義全体の振り返り

3. 履修上の注意

- プレースメント試験の結果、日本語3, 4, 5のレベルにプレースされている学生が履修できますが、履修できるのは10人までです。初回にレベルチェックをして履修者を決定するので、必ず出席してください。
- 「日本語(総合)」でも漢字の小テストをします。「日本語(総合)」を履修する人は、漢字学習の負担が大きくなるように、よく考えてこの授業を履修してください。
- 授業内で教科書の「読み物」を読んだり、漢字の覚え方を紹介し合ったりする活動もするため、教科書の「読み練習」や「書き練習」が宿題になることもあります。宿題は必ずOh-o! Meijiに提出してください。

4. 準備学習(予習・復習等)の内容

- 授業前の予習として、教科書の「漢字の書き方」の練習をしてください。
- 授業後の復習として、30分～1時間、漢字や漢字語彙の読み書き練習を十分にしてください。また、練習した漢字や漢字語彙は、クラスの外で、日本語の文を書いたり日本語で交流したりする際にも積極的に使ってください。
- 街で見かけた漢字の意味や読み方を調べて授業で発表する、という課題があります。

5. 教科書

『【新版】BASIC KANJI BOOK 一基本漢字 500— Vol. 2 (第2版)』, (凡人社), 加納千恵子他著 ISBN : 978-4-89358-974-3

6. 参考書

『BASIC KANJI WORKBOOK 使って、身につく 漢字×語彙2』, (凡人社), 清水百合他著 ISBN : 978-4-89358-756-5

7. 課題に対するフィードバックの方法

- 小テストは、実施した後で個別に正答解説をします。
- 教科書の「読み練習」と「書き練習」は、授業内で個別に添削をします。宿題になった場合には、添削して、Oh-o! Meijiを通じて返却します。
- 発表の課題は、授業内でコメントします。
- 第7回と第14回に自己評価とそれに基づく講評を行います。

8. 成績評価の方法

小テスト (40%), 自己評価 (中間, 期末) (20%), 課題 (30%), 平常点 (授業への参加度, 貢献度) (10%)

※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

9. その他

- ・授業のスケジュールおよび内容は変更の可能性があります。
- ・この授業は、対面授業の場合は、「日本語 (総合)」の授業とあわせて、フィールドワークやその準備があります。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語4 (口頭表現)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
<p>1. 授業の概要・到達目標</p> <p>【概要】この授業は中級前半レベルの学生を対象とし、中級レベルの口頭表現力を伸ばします。特に大学での勉学に必要なプレゼンテーションやディスカッションの基本技能の習得を目標とします。</p> <p>【到達目標】1. 日常的な話題について、状況や場面に応じた会話ができる。 2. 相手の言うことを正確に聞き取り、簡単に説明したり、意見を述べたりできる。 3. 自身の興味、関心のあるトピックについて準備をして、簡単なスピーチを行い、質問をしたり答えたりできる。</p>	
<p>2. 授業内容</p> <p>第1回：イントロダクション、会話表現①許可を求める 第2回：会話表現②依頼する 第3回：会話表現③あやまる 第4回：敬語の基本 第5回：敬語を使って話す 第6回：物や仕組みを説明する①説明 第7回：物や仕組みを説明する②発表 第8回：意見を述べる表現 第9回：意見を述べるスピーチ 第10回：ディスカッション 第11回：プレゼンテーション①説明 第12回：プレゼンテーション②準備 第13回：プレゼンテーション③発表 第14回：まとめ・コースのふりかえり</p>	
<p>3. 履修上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレースメント試験の結果、日本語4のレベルにプレイスされている学生が履修できます。 ・ペアワークやグループワークをたくさん行い、日本人と交流しながら学ぶ「ゲストセッション」も取り入れます。 ・クラスメートとよく協力して授業に参加してください。特別な理由がない限り、休まないでください。 	
<p>4. 準備学習（予習・復習等）の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから日本語で考え、話すように心がけてください。 ・予習の内容は、回によって異なるので授業の中で具体的に指示します。 ・復習として、授業で学んだ語彙・表現・発音などの確認をすることを求めます。 	
<p>5. 教科書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書はありません。プリント教材を配布するので、配布物を保存するファイルを用意してください。 	
<p>6. 参考書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時に必要に応じて紹介します。 	
<p>7. 課題に対するフィードバックの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題などの課題は Oh-o! Meiji と教室でのフィードバックの両方を行いますので、各課題のフィードバック方法は、課題提出時に説明します。 	
<p>8. 成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常点（授業への取り組み・宿題）60%、課題（発表・プレゼンテーションなど）40%により総合的に評価します。試験は実施しません。 ・この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。 	
<p>9. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。 ・この授業では「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。 	

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語4 (文章表現)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

【授業の概要】初級文型の学習を終えたレベルの学生が対象です。

・自分自身のことや自分に関係のある話題（自分の国、習慣、文化、興味のあることなど）について、初級で学んだ「言葉」や「表現・文法」を使って文章を書きます。

まず、話しことばと書きことばの違いを学びます。それから、わかりやすい構成の説明文や、意見文を書きます。

【到達目標】1. 日本語で、自分自身のことや、自分に関係のある話題について400~600字の作文が書ける。

2. 初級で学んだ「言葉」や「表現・文法」を使って、文章の構成や文体が整った作文が書ける。

3. 自分の意見や感想を理由とともに述べたり、また、事実や情報をまとめて述べた作文を書くことができる。

2. 授業内容

第1回：イントロダクション、授業内作文 与えられたテーマで作文を書く。

第2回：前回の授業内作文から日本語の作文に関して自分の課題点を見つける。

第3回：テーマ①文体と書きことば 練習

第4回：テーマ①文体と書きことば アイディア整理／作文のルール1

第5回：テーマ①文体と書きことば フィードバック／書き直し

第6回：テーマ②説明文 アイディア整理／作文のルール2

第7回：テーマ②説明文 フィードバック／書き直し

第8回：テーマ③順番に説明する アイディア整理／作文のルール3

第9回：テーマ③順番に説明する フィードバック／書き直し

第10回：テーマ④比較して書く アイディア整理／作文のルール4

第11回：テーマ④比較して書く フィードバック／書き直し

第12回：テーマ⑤論理的に書く アイディア整理／作文のルール5

第13回：テーマ⑤論理的に書く フィードバック／書き直し

第14回：作文の発表、まとめ

3. 履修上の注意

・作文を書く宿題があります。作文の提出日を守ってください。

・この科目はプレースメントテストの結果、日本語4レベルにプレースされた人が履修できます。

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

・作文を書いた後は、フィードバックをしっかりと見て書き直してください。

・フィードバックや、自分が書いた作文のデータはしっかりと管理してください

5. 教科書

・『おしゃべりしながら 書くことを楽しむ中級作文』, (凡人社), 杉浦千里・木戸光子 ISBN987-4-89358-978-1

6. 参考書

・『中級日本語学習者対象 小論文への12のステップ』, (スリーエーネットワーク), 友松悦子 ISBN978-4883194889

・『大学・大学院留学生の日本語②作文編』, (アルク), アカデミック・ジャパニーズ研究会 ISBN978-4757426220

7. 課題に対するフィードバックの方法

・授業内での説明および oh-h!meiji を使ってフィードバックを行います。

・各課題のフィードバック方法は課題提示時に説明します。

8. 成績評価の方法

・提出物、作文 80%

・平常点（授業への取り組み） 20%

※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

9. その他

・授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。

・この授業では、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

にほんご
日本語5

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語5 (総合)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	3単位
授業数	週3回

1. 授業の概要・到達目標

【授業の概要】この授業は、中級レベルの日本語を学ぶ学生を対象にしています。これまで学んできた文法や語彙を適切に使い、さらにより高度な日本語を理解し、使い、自ら学びつづけられるような力を養います。日本社会や文化、世界的な問題をテーマとした教科書(『上級へのとびら』の後半部分)を使って、日本語の運用能力、および、より一般的な・専門的な語彙や中級レベルの文法の運用力を総合的に高めます。授業ではテーマに沿ったディスカッションや発表なども行います。積極的に自分の意見を述べ、これまで学んだ日本語を自信をもって活用できるように取り組んでください。また、日本語学習に取り組むだけでなく、日本文化・社会、そして同じクラスの留学生の国や文化・社会に興味を持ち、多様な文化や社会に関する知識も深めてください。授業は日本語で行い、3人の教員が担当します。

【到達目標】1. 日本文化や日本社会・国際社会について書かれた長い文章を読んで、理解することができる。

2. 読んだ内容について自分の国や文化と比較しながら、自分の考えを話すことができる。
3. N3～2レベルの語彙や文法を学び、理解し、適切に使うことができる。また、自分の語彙や文法の間違いを自分で直せる。

2. 授業内容【授業の進め方】

第1回：a. イントロダクション(授業についての説明) / b. 第8課『日本の伝統芸能』

第2-6回：第8課『日本の伝統芸能』

第7-11回：第9課『日本の教育』

第12回：復習

第13回：a. 復習テスト(第1回) / b. クラス活動

第14-17回：第10課『日本の便利な店』

第18回：フィールドワーク

第19-20回：第10課『日本の便利な店』

第21-26回：第11課『日本の歴史』

第27回：a. 復習テスト(第2回) / b. クラス活動

第28-33回：第13課『日本人と自然』

第34-40回：第15課『世界と私の国の未来』

第41回：a. 復習テスト(第3回) / b. 総復習

第42回：ふりかえり/クラス活動

◆授業の詳しいスケジュールは、第1回目のイントロダクションで説明します。

3. 履修上の注意

- ・この科目はプレースメントテストの結果、日本語5レベルにプレースされた人が履修できます。
- ・週3回の授業すべてに出席しなければなりません。

4. 準備学習(予習・復習等)の内容

◆効果的に学習を進めるために、予習復習を十分に行ってください。

◆予習：毎回30分～1時間 進行表を見て、学習内容のページの単語の意味や読み方を調べる。

重要表現、文法・語彙練習の説明と例文を読む。小テストの準備をする。

◆復習：毎回30分～1時間 その回に指示された宿題や文法プリントの記入。学習項目の整理。

◆教科書付属のWEBサイト上の教材を活用し、自律的に学習を進めてください。

上級へのとびらサイト：<http://tobiraweb.9640.jp/>

5. 教科書

◆『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語 上級へのとびら』, 岡まゆみ 他著, (くろしお出版) 978-4-87424-447-0 C0081, 3, 630円(税込)

6. 参考書

必要があれば、授業の時に紹介します。

教科書には副教材もあります。こちらも参考にしてください。

○『上級へのとびら きたえよう漢字力 上級へつなげる基礎漢字800』, 岡まゆみ監修, (くろしお出版)

978-4-87424-487-6 C0081, 2, 420円(税込)

○『上級へのとびら これに身につく文法力』, 筒井通雄監修, (くろしお出版) 978-4-87424-570-5 C0081, 2, 420円(税込)

7. 課題に対するフィードバックの方法

クイズ、宿題、テスト等のフィードバックは、実施方法によって、On-meiji上もしくは、授業中のフィードバックを行います。

8. 成績評価の方法

◆評価対象と割合

- ・復習テスト(3回) 60%
- ・平常点(小テスト, 課題の提出, 授業への取り組み) 40%

※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

9. その他

- ◆授業では、日常的なコミュニケーション能力だけでなく、大学での勉学に必要な読解能力や語彙・表現能力などを重視します。
- ◆より高いレベルの日本語能力試験の受験・合格も目指しましょう。
- ◆授業のスケジュールおよび内容は、学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- ◆この授業では、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語5 (読解)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

【概要】本クラスは、中級前半の学生を対象にし、日本語学習の中でも特に文章の読み方(読解)を勉強します。読解の力をつけるためには、まず書いた人の考えを読み取り理解する力をつける必要があります。その上で、自分が理解したことを自分の言葉で他の人に伝えることができるようになることも大切です。クラスでは、さまざまなタイプの文章を読みながら、漢字・語彙・文法表現なども確認していきます。

【到達目標】身近な場面で必要な日本語の「読み」からアカデミックな文章の「読解」へとつながる力を身につけること。初級レベルの漢字・語彙・文法表現を復習しながら、さまざまな文章を読むことで中級後半、そして上級へとつながる読解力の向上を目指す。

Can-do: 身近な話題や一般的なメディアで取り上げられている話題、さらには自分の専門分野等に関する記事や文章等について、語彙や文型のコントロールがされていればある程度の長さの文章を読み、理解することができる。

2. 授業内容

- 第1回: イントロダクション 最新の記事を読む (1) 漢字・語彙・内容の確認 —やさしい日本語ニュース→ NHK NEWSWEB ニュース
- 第2回: 日本語のエッセーを読む (1-1) 漢字・語彙・文法の確認・文章の型・内容確認
- 第3回: 日本語のエッセーを読む (1-2) 漢字クイズ・文法の練習・語彙の運用
- 第4回: 最新の記事を読む (2) 漢字・語彙・内容の確認 —やさしい日本語ニュース→ NHK NEWSWEB ニュース
- 第5回: 日本語の詩を読む (1-1) 漢字・語彙・文法の確認・文章の型・内容確認
- 第6回: 日本語の詩を読む (1-2) 漢字クイズ・文法の練習・語彙の運用
- 第7回: 日本語のエッセーを読む (2-1) 漢字・語彙・文法の確認・文章の型・内容確認
- 第8回: 日本語のエッセーを読む (2-2) 漢字クイズ・文法の練習・語彙の運用
- 第9回: 日本語のエッセーを読む (3-1) 漢字・語彙・文法の確認・文章の型・内容確認
- 第10回: 日本語のエッセーを読む (3-2) 漢字クイズ・文法の練習・語彙の運用
- 第11回: 日本語の資料(グラフ)を読み取る (1) 漢字・語彙・文法の確認・文章の型・内容確認
- 第12回: 日本語の資料(グラフ)を読み取る (2) 漢字クイズ・文法の練習・語彙の運用
- 第13回: 最新の記事を読む (3) 漢字・語彙・内容の確認 —やさしい日本語ニュース→ NHK NEWSWEB ニュース
- 第14回: 期末試験+フィードバック・ふりかえり

3. 履修上の注意

積極的に授業に参加すること。クラスでは、新聞記事、ネット記事、エッセーなどを読むので、辞書を持ってきてください。プレースメント試験の結果、日本語5のレベルにプレイスされている学生が履修できます。

4. 準備学習(予習・復習等)の内容

- ・授業後は、きちんと復習してください。前回勉強した内容から毎回クイズがあるので、必ず準備すること。
- ・各読み物の読解が終わった後は、本文要約や文法などの課題を出します。(約30分~1時間相当)

5. 教科書

授業時にハンドアウトを配布

6. 参考書

授業時に指示

7. 課題に対するフィードバックの方法

各課題のフィードバックは、実施後、授業内で行います。

8. 成績評価の方法

小テスト・課題 (50%) 小テストは、毎回授業開始時に実施。
 期末試験 (30%)、授業への参加度および平常点 (20%)
 ※この授業の単位を取るためには、2/3以上の出席が必要です。(遅刻・早退は30分まで。それ以上は欠席扱い。)

9. その他

- ・授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- ・基本的には、全出席前提で授業をします。なるべく遅刻・欠席はしないようにしてください。
- もし遅刻・欠席したときは、自分で次のクラスまで何をすべきかを確認し、準備して出席してください。
- ・この授業では、「日本語(総合)」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語5 (口頭表現)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

【概要】中級前半レベルの学生を対象として、口頭表現力の向上を目指します。身近な話題、自分の専門分野や興味のある話題についてスピーチをします。また、日本人学生に参加してもらい、インタビューやディスカッションなど、実践的な会話の練習をします。

【到達目標】

- 一般的な話題や自分の専門分野等について、準備をして、事実や意見とその理由等を、まとまりのある談話で話すことができるようになる
- 発話をモニタリング、修正しながら日常的な会話ができるようになる。

2. 授業内容

- 第1回：イントロダクション、ユニット1「自己紹介」内容と表現を考える
 第2回：ユニット1「自己紹介」実践と振り返り
 第3回：ユニット2「インタビュー」内容を決めて練習する
 第4回：ユニット2「インタビュー」実践と振り返り
 第5回：ユニット3「スピーチ1（意見を言う）」テーマと表現を考える
 第6回：ユニット3「スピーチ1（意見を言う）」原稿を作り、練習する
 第7回：ユニット3「スピーチ1（意見を言う）」原稿を作り、練習する
 第8回：ユニット3「スピーチ1（意見を言う）」実践と振り返り
 第9回：ユニット4「スピーチ2（調べたことを紹介する）」テーマと表現を考える
 第10回：ユニット4「スピーチ2（調べたことを紹介する）」原稿を作り、練習する
 第11回：ユニット4「スピーチ2（調べたことを紹介する）」原稿を作り、練習する
 第12回：ユニット5「スピーチ2（調べたことを紹介する）」実践と振り返り
 第13回：ユニット5「ディスカッション」実践
 第14回：ユニット5「ディスカッション」実践と振り返り

3. 履修上の注意

- プレースメント試験の結果、日本語5のレベルにプレイスされている学生が履修できます。
- 日本人学生に参加を複数回予定しています。初対面の人と話すことが多くなるかもしれませんが、積極的に参加してください。
- 自分の発話をスマートフォンなどで録画して、振り返りをするもあります。
- 授業開始時に1分間スピーチを行います。遅刻しないようにしてください。

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

- ◆次回の準備のための課題と、実践を振り返るための課題を出します。
- 準備：インタビューやスピーチなどの原稿を作成したり、読む練習をしたりする。
- 復習：振り返りシートを書く。

5. 教科書

必要に応じて資料を配布します。

6. 参考書

『中級 日本語で挑戦！ スピーチ&ディスカッション』,(凡人社), 黒崎典子(くろさきのりこ) 編著

7. 課題に対するフィードバックの方法

原則として「実践と振り返り」の時間、もしくはその翌週に、教師から一人一人に対してフィードバックをします。ただし、準備のための課題は、Oh-o! Meiji でフィードバックすることもあります。

8. 成績評価の方法

- インタビュー、スピーチ、ディスカッションの実践：60%
 - 平常点（課題の提出、授業への取り組み）：40%
- ※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

9. その他

- 授業中は日本語で話してください。
- 授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- この授業では、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語5 (文章表現)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

【概要】

中級レベルの学生が、文体や構成を考えながら書く能力を身に付けます。授業では書く前にテーマについて話し合う時間を設け、意見をまとめ、構成を考えます。書いた作文は翌週に授業時間内で発表し、その内容について質問や感想を受けます。テーマは自分自身に関係のあるものから一般的、専門的な話題まで扱います。

【到達目標】

日本語でまとまった量(600~800字程度)の作文が書けるように練習します。意見文などの論理的な文章について、わかりやすい構成を考え、読む人が理解しやすい文章を書くのを目標にします。各テーマに合った文章の表現についても学びます。

2. 授業内容

- 第1回：イントロダクション 自己紹介文を書こう 発表
- 第2回：体験文1 「子どものころの私」
- 第3回：体験文1 口頭発表 フィードバック 課題
- 第4回：体験文2 「日本に来て大変だったこと」
- 第5回：体験文2 口頭発表 フィードバック 課題
- 第6回：情報文1 「日本のおすすめの場所」(または「明治大学から歩いて10分以内にあるおすすめの場所」)
- 第7回：情報文1 口頭発表(プレゼンテーション) フィードバック 課題
- 第8回：情報文2 「おすすめの映画」
- 第9回：情報文2 口頭発表 フィードバック 課題
- 第10回：状況をもとにした意見文 「私の外国語学習方法」
- 第11回：状況をもとにした意見文 口頭発表 フィードバック 課題
- 第12回：テーマに沿った意見文 「世界の問題とその解決策」
- 第13回：テーマに沿った意見文 リライト
- 第14回：テーマに沿った意見文 口頭発表 フィードバック まとめ等

3. 履修上の注意

・プレースメント試験の結果、日本語5のレベルにプレースされている学生が履修できます。

4. 準備学習(予習・復習等)の内容

毎回のテーマに沿った文章を書いてください。直された作文は必ず見て、確認してください。また、授業中に文章の表現を学ぶための課題をしてください。

5. 教科書

プリント教材を配布します。

6. 参考書

必要に応じて資料を配布します。

7. 課題に対するフィードバックの方法

作文の課題を Oh-o! Meiji に提出してください。間違えたところをハイライトして Oh-o! Meiji から返します。文法、表記の間違いを直して Oh-o! Meiji に再提出してください。

8. 成績評価の方法

作文提出(70%)、平常点(普段の授業での活動、宿題)(30%)により評価します。出席が2/3以上でなければ評価は出しません。

9. その他

授業のスケジュールは、人数によって変更することがあります。この授業は対面授業の場合、「日本語(総合)」の授業とあわせて、フィールドワークやその準備を含みます。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、積極的に取り組んでください。

にほんご
日本語6

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語6 (総合)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	3単位
授業数	週3回

1. 授業の概要・到達目標

【授業の概要】この授業は、中級後半レベル (B1 を目指すレベル) の学生を対象にしています。教科書『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語』の自然な日本語で書かれた様々なテーマの文章を題材に、日本語での話す・書く・読む・聞くの能力、語彙や文法の運用力を総合的に高めます。授業は3人の教員が担当します。

【到達目標】1. 言語のコントロールの少ない、一般的・社会的な話題の文章を読んで、筆者の意見を理解し、文章の流れや要点が理解できる。
2. 読んだ文章に対する自分の意見や考えを、まとまりのある談話で、適切な文法や語彙を使って述べられる。
3. テーマに関わる文型・表現・語彙を学び、理解し、使うことができる。また、言い換えをしたり、自分の語彙や文法の間違いを自分で直したりすることができる。

2. 授業内容【授業の進め方】

第1回：イントロダクション (授業についての説明)

第2-6回：ユニット1「自己紹介と本当の自分」

第7-12回：ユニット4「ことばと文化」

第13回：復習

第14回：a. 復習テスト (第1回) / b. クラス活動

第15-20回：ユニット5「心と体のバランス」

第21-26回：ユニット6「働くということ」

第27回：復習

第28回：a. 復習テスト (第2回) / b. クラス活動

第29-34回：ユニット9「食の共同性」

第35-40回：ユニット10「笑いのちから」

第41回：復習

第42回：a. 復習テスト (第3回) / b. クラス活動

◆授業の詳しいスケジュールは、第1回目のイントロダクションで説明します。◆授業のスケジュールは、変更する場合があります。

3. 履修上の注意

週3回の授業すべてに出席しなければなりません。

4. 準備学習 (予習・復習等) の内容

◆効果的に学習を進めるために、予習復習を十分に行ってください。

◆予習：毎回30分～1時間 進行表を見て、学習内容のページの単語の意味や読み方を調べる。
重要表現、文法・語彙練習の説明と例文を読む。クイズの準備をする。

◆復習：毎回30分～1時間 その回に指示された宿題や文法プリントの記入。学習項目の整理。

◆教科書に対応した音声アプリも活用し、自律的に学習を行ってください。

5. 教科書

◆『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語』鎌田修他著, The Japan Times 978-4-7890-1462-5 3,520円 (税込)

◆『新・中級から上級への日本語 ワークブック』鎌田修監修, The Japan Times 978-4-7890-1540-0 1,980円 (税込)

6. 参考書

必要があれば、授業の時に紹介します。

7. 課題に対するフィードバックの方法

◆評価対象と割合 ・復習テスト (3回) 60% ・平常点 (小テスト, 課題の提出, 授業への取り組み) 40%

◆出席が2/3以上でなければ評価は出しません。

8. 成績評価の方法

◆授業では、日常的なコミュニケーション能力だけでなく、大学での勉学に必要な読解能力や語彙・表現能力などを重視します。

◆より高いレベルの日本語能力試験の受験・合格も目指しましょう。

◆この授業では、対面授業時には「フィールドワーク」を実施する可能性があります。東京都内の様々な場所を実際に訪れて見学、体験することを通して、より深く日本や日本語を理解しましょう。そのための事前準備にも積極的に取り組んでください。

9. その他

なし

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語6 (読解)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

【概要】

一般的・社会的な話題や自分の専門分野について、言語のコントロールの少ない文章を読み、さらに教師やクラスメイトのサポートで分析的に読む活動を行う。同時に速読練習を行い、読む力を補う。テーマを選択し読み、発表する。

【到達目標】

一般的・社会的な話題や自分の専門分野について、言語のコントロールの少ない文章（エッセイ、論説文、記事、講義資料、学術資料等）について、教師のサポートを受けて細部まで読み取ることができる。読むためのスキルを用い、内容を読み取ることができる。

2. 授業内容

- 第1回：イントロダクション 速読練習 (1)
- 第2回：速読練習 (2) 読解練習 (1)
- 第3回：クイズ (1) 速読練習 (3) 読解練習 (2)
- 第4回：クイズ (2) 速読練習 (4) 読解練習 (3)
- 第5回：クイズ (3) 速読練習 (5) 読解練習 (4)
- 第6回：クイズ (4) 速読練習 (6) 読解練習 (5)
- 第7回：中間テスト クイズ (5) 速読練習 (7) 読解練習 (6)
- 第8回：クイズ (6) 速読練習 (8) 読解練習 (7)
- 第9回：クイズ (7) 速読練習 (9) 読解練習 (8)
- 第10回：クイズ (8) 速読練習 (10) 読解練習 (9)
- 第11回：クイズ (9) 速読練習 (11) 読解練習 (10)
- 第12回：クイズ (10) 速読練習 (12) 読解練習 (11)
- 第13回：発表
- 第14回：期末テスト まとめ 振り返り

3. 履修上の注意

- ・プレースメント試験の結果、日本語6のレベルにプレースされている学生が履修できる。
- ・30分以上の遅刻、早退は欠席とする。
- ・教材は次の課題を授業時に配布（または0h-meijiにアップしてある）ので、次回やってくること。
- ・欠席した場合は次回の課題を0h-meijiからダウンロードし、次回の授業時までまでにやって持ってくること。
- ・欠席・遅刻・早退をした時に行ったクイズは、後からは受けられない。

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

配布した読み物を事前に読み、問題をやってくる。学習した内容の復習

5. 教科書

一つの教科書は使用しない。『読む力（初中級・中級）』くろしお出版 などからとりあげる。速読は『中・上級者のための速読の日本語』から部分的にとりあげる。

6. 参考書

なし

7. 課題に対するフィードバックの方法

授業時に行う。課題シートの返却と解説

8. 成績評価の方法

平常点・参加度：20% クイズ：20%

発表：10% 課題：20%

テスト：30%

※この授業の単位を取るためには、2/3以上の出席が必要です。

9. その他

- ・スケジュール、内容は学生の特徴、人数などによって変更される。
- ・この授業では、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語6 (口頭表現)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

【概要】この授業では、自分の関心のある身近な話題や、専門分野・社会的な話題をテーマにグループで話し合い、それをもとに個人またはグループでショートプレゼンテーションを行います。また、日本人学生に参加してもらい、インタビューや質疑応答などを行います。その他、授業の最初に発音練習も行います。

【到達目標】

- ・まとまりのある談話で、要点をおさえた発表をすることができる。
- ・他者の発表について主体的に意見や考えをもち、それを話すことができる。
- ・発表や、やりとりをするに自信がもてる。

2. 授業内容

- 第1回：イントロダクション、テーマ1「身近なものの紹介」準備
 第2回：テーマ1「身近なものの紹介」発表
 第3回：テーマ2「映画レビュー」準備
 第4回：テーマ2「映画レビュー」発表
 第5回：テーマ3「CM分析」準備
 第6回：テーマ3「CM分析」発表
 第7回：テーマ4「日本人学生インタビュー」インタビュー準備
 第8回：テーマ4「日本人学生インタビュー」インタビュー
 第9回：テーマ4「日本人学生インタビュー」発表練習、質疑応答準備
 第10回：テーマ4「日本人学生インタビュー」発表、質疑応答
 第11回：テーマ5「訪日外国人向けツアー企画」準備
 第12回：テーマ5「訪日外国人向けツアー企画」発表練習、質疑応答準備
 第13回：テーマ5「訪日外国人向けツアー企画」発表、質疑応答
 第14回：テーマ5「訪日外国人向けツアー企画」振り返り

3. 履修上の注意

- ・プレースメント試験の結果、日本語6のレベルにプレースされている学生が履修できます。
- ・グループでの話し合いや発表を中心に授業を進めるので、積極的な参加を期待します。
- ・自分の発表をスマートフォンなどで録画して、振り返る課題を課します。
- ・準備回を欠席した時は、Oh-o! Meiji より該当するテーマのハンドアウトを取得し、次回までに発表の準備をしてください。

4. 準備学習(予習・復習等)の内容

次回の準備のための課題と、発話を振り返る課題を出します。

- ・準備：インタビューやスピーチができるように、原稿やスライドを準備し、話す練習をします。
- ・振り返り：発表時の動画を見て、振り返りシートを書きます。

5. 教科書

教科書はありません。ハンドアウトを配布します。

6. 参考書

『伝える発音が身につく！日本語話し方トレーニング 中・上級レベル』(アスク) 中川千恵子ほか

7. 課題に対するフィードバックの方法

各発表について、教室または Oh-o! Meiji で教師からルーブリック評価票を渡します。

8. 成績評価の方法

評価項目と割合は以下の通りです。

○発表回数 (50%)

…発表をした回数と振り返りシートの提出回数から算出します。 ※発表の後で振り返りシートを提出

○発表内容 (50%)

…主に以下A～Dの要素から評価し、最終的に全発表の平均から算出します。

A. 内容

B. 構成・流れ

C. ことば

D. 周辺情報（表情、目線、姿勢など）

※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

9. その他

- ・日本人学生が複数回ゲストとして参加します。
- ・授業のスケジュールや内容、発表形式は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- ・この授業では「日本語6（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語6 (文章表現)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

各回で作文を書く際には、いくつかのトピックについて、クラス全体、またはグループでのディスカッションで意見を発表し、他の学生の意見も聞いてから400字から600字程度の作文にまとめます。学期後半ではトピック導入に新聞等の生教材を使い、社会問題を直接取り上げたものとなります。

作文を次の授業で返却する時には、改善したほうが良い表現について学生自身で、またはクラスで検討します。

作文は0h-o!Meijiのクラスウェブに提出してもらいます。

また、学期前半で扱ったトピックの中から一つを選び、800~1000字の小論文にまとめ、期末課題として提出します。

資料の引用の方法についても学びます。

【到達目標】

- 800~1000字程度の論理的な文章が書けるようになる。
- 適切な日本語表現を正確に使い、読み手が理解しやすい文章が書けるようになる。

2. 授業内容

第1週：ガイダンス・短い作文

第2週：文体・表記：書き方の基本

第3週：作文

第4週：作文

第5週：作文

第6週：作文

第7週：作文

第8週：作文

第9週：作文

第10週：引用の書き方・期末課題のトピックを選ぶ

第11週：作文

第12週：作文

第13週：作文

第14週：まとめ・自己評価

3. 履修上の注意

- 作文の前にはクラス内で意見交換を行うため、積極的な参加を期待します。
- この科目はプレースメントテストの結果、日本語6レベルにプレースされた人が履修できます。

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

必要に応じて間違った部分の修正などを授業後に行ってもらいます（30分〜）。

5. 教科書

教師作成資料を配布します。

6. 参考書

特になし

7. 課題に対するフィードバックの方法

作文・期末課題へのコメントをフィードバックとします。コメントは0h-o!meiji上で行います。

8. 成績評価の方法

作文：80%

期末課題：20%

※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

9. その他

- 授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- この授業では、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。